

墨田区のお知らせ

No.2171

2026年(令和8年) 3/1

毎月1日・11日・21日発行

- ◆2面以降の主な内容
- 2・3面・・・図書館での証明書受取サービスの終了等
- 4～7面・・・講座・教室・催し・募集
- 7面・・・すこやかライブ
- 8面・・・つながる すみ達人



墨田区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

# すみだ

発行：墨田区(広報広聴担当) ☎5608-1111代表 〒130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号

<https://www.city.sumida.lg.jp/>

## 令和8年度予算案

## 人がつながり 夢をカタチに すみだの新時代を切り拓く予算

**総額 2148億7500万円(+6.9%)**

- ▶一般会計 1559億2600万円(+9.0%)
- ▶国民健康保険特別会計 266億1500万円(-1.2%)
- ▶介護保険特別会計 245億2800万円(+3.0%)
- ▶後期高齢者医療特別会計 78億 600万円(+9.0%)

\* ( )内は、令和7年度当初予算と比べた増減率

令和8年度予算案は、現在開会中の令和7年度墨田区議会定例会2月議会で審議されています。令和8年度に新たに計上した事業等を中心に、予算案の一部をご紹介します。予算案の概要は区HPをご覧ください。

**[問合せ]** 財政担当 ☎5608-6232



### 「これまで」と「これから」をつなぐ 人が主役のまちづくり

#### すみだならではの魅力の創出



**「すみだ五彩の芸術祭」の開催 4億2516万円**

23区初となる区主催の総合芸術祭として、9月～12月に、地域住民が主役の多彩な企画(展示・音楽・演劇等)を区内全域で展開します。参加者が企画を通じて関わり合いながら、すみだの文化や魅力を再発見・共有することで、地域のつながりの強化や地域力の向上を目指します。



**江戸文化発信を通じた区内回遊促進 774万円**

江戸東京博物館のリニューアルに合わせ、江戸文化の発信を軸に、今後発行予定の「地球の歩き方 墨田区」に合わせたイベントや国際ファッションセンターでの展示等を実施し、両国から区内全域への観光回遊を促進します。



**区制施行80周年記念事業の実施 1959万円**

来年3月15日に区制施行80周年を迎えるに当たり、記念式典の開催や記念映像の制作を実施します。過去から現在、そして未来をつなぎ、区政の更なる発展を目指します。



#### 区民の安心に寄り添うまちづくり

**規制強化に伴う新たな民泊対策 2959万円**

4月に施行される「墨田区住宅宿泊事業の適正な運営に関する条例」等の実効性を高めるため、民泊の監視指導體制を強化します。また、住宅宿泊事業に関する墨田区版ルールブックを作成・配布し周知啓発を行うほか、民泊総合窓口も開設し、区民の民泊に対する不安の解消へつなげていきます。



**シルバーパス・高齢者見守りICT 機器等購入助成 8390万円**

高齢者が外出しやすく、かつ安心して自宅で生活できるよう、東京都シルバーパスや高齢者見守りICT機器等の購入・導入費用の一部を助成し、高齢者の生きがいある暮らしをサポートします。



**ゼロカーボンシティの推進 4700万円**

「すみだゼロカーボンシティ2050宣言」の達成に向け、公共施設に再生可能エネルギー由来の電力を導入するとともに、照明機器のLED化を推進し、区の事務事業から排出される温室効果ガスを削減します。



#### 「こどもまんなか すみだ」の推進

**子どもを安心して産み育てられる環境の充実 1億5301万円**

妊娠期～出産・子育て期の切れ目ない支援として、育児パッケージの追加配布や産婦健診・1か月児健診の費用助成の前倒し、日帰り型産後ケアの利用日数の拡充、見守り支援員が家庭に訪問し不安や悩みに寄り添う「ファミリー・アテンダント事業」等を実施します。



**おむつのサブスク利用料助成 3900万円**

保護者・保育士それぞれの負担を軽減し、保育の質を向上させるため、保育施設での紙おむつ・おしり拭き定額利用サービス(おむつのサブスク)利用料の一部助成を開始します。



**英語教育の充実と授業づくり支援サービスの導入 3755万円**

子どもの英語力向上のため、区立小学校で新たに英語体験型学習を実施し、学んだ英語を活かせる環境を作ります。また、若手教員の指導力向上のため、23区で初めてクラウド型授業づくり支援サービスを全校に導入します。



#### この事業も注目!

**介護人材確保に向けた支援 3132万円**

介護人材が不足している介護事業所に対して、従業員向け宿舍の借上費の助成や人材採用力強化セミナー等を実施し、人材の確保・定着と介護の生産性の向上につなげます。



**まちが輝く公園づくり・再整備 4億8384万円**

東あずま公園・横川公園・大横川親水公園の再整備を進め、多世代の多様なニーズに応える快適で居心地の良い空間とすることで、誰もが訪れたい公園づくりを目指します。



ESD(エスディー) SDGs(持続可能な開発目標)は、私たちがこの地球で暮らし続けていくために、2030年(令和12年)までに達成を目指す世界共通の17の目標です。本区は「SDGs未来都市」として、持続可能で幸せなまちづくりを着実に進めています。